〈施設長あいさつ〉

令和元年度に大規模改修が完了し、建物設備等は今後30年後においても十分使用に耐えるように改修しました。また、大規模改修に併せて、次の整備を行いました。

①ペアガラスの内窓の設置、又は排煙窓などはこのペアガラスに交換しました。大半を3重ガラスにし、断熱性・遮音性・気密性を高め、1年を通じ快適な環境を実現しました。

②2階から4階までの食堂に天井除湿放射冷暖房システム「天空」を設置しました。この天空は、冷風のない快適で、省電力の冷暖房設備です。

③屋上にプロパンガスを熱源にする強力な加湿設備を設置しました。これにより冬季の乾燥した空気であっても、約22℃・50%以上の相対湿度の空気にすることができました。なお、この設備と前記①のペアガラス化により、電気による暖房がほとんど不要になり、大幅に電気料金を削減できました。

④全ベッドに眠りスキャンを設置しました。このセンサーはコンピュータにより、各階ごとに、すべてのご利用者の睡眠状態をリアルタイムに把握でき、さらに呼吸数及び心拍数と併せて記録できるものです。これによる安全・安心を、ご利用者・ご家族に提供してまいります。

大規模改修時の空調室内機の強力な除菌ユニットやオゾン発生器などの安全・安心などの設備と、全照明のLED化により、明るく、快適な環境を提供いたします。

ご利用者・ご家族の皆様の笑顔に繋がるよう、これらの施設・設備を活用し、よりよい食事を目指し、さらに私たち職員の様々な取組みによる一層質の高い介護サービスを提供してまいります。これらのことを通じて、経営理念や福祉の実現に努めてまいります。皆様のあたたかいご支援・ご指導をいただけますようお願い申し上げます。

施設長 漆原 尚幸

ご自宅よりも気持ちよく暮らせる快適な空間

ご利用者にやさしく快適な空間にするため、放射熱冷暖房設備等を導入しています。この放射熱冷暖房設備は、太陽光発電設備等により、大規模停電でも運転可能です。

大規模災害が発生したら…

万が一大規模災害が発生しても、防災備蓄食品7日分や簡易トイレを準備しているほか、太陽光発電設備（令和2年11月導入予定）等による電気、ガス（被災時はプロパンガスを使用）、水道のインフラをできる限り生かせるよう、対策を講じています。

新しい加湿設備の導入で一年中、安定した湿度に!!

乾燥した冬季でも施設内を湿度50%以上（相対湿度）にします!